

JAしまねびより

2019

5

May Vol.38

今月の特集 島根のいいもの再発見!! 「隠岐の島町 繁殖牛」 隠岐地区本部



「馬入水神事」
王若酢命神社 (隠岐の島町)

Naomichi

島根には誇れる農産品がたーっさん!

島根のいいもの 再発見!!

直撃・生産者インタビュー

隠岐の島町 繁殖牛

5月は、隠岐地区本部。隠岐の島町で、繁殖農家として肉用向けの子牛生産に取り組む、都万地区の野津賢三郎さん、田中修司さん親子のほか、町内における畜産の現状を隠岐地区本部の広兼経済部長に伺ってきました。



隠岐地域では和牛の生産を重点的に支援しており、県全体の頭数が減っている中、町内では増頭。数年前までは米の出荷額が1番だったが、現在では和牛の販売額が倍になるほど盛んになっている。平成23年頃からは地元の建設会社が畜産事業に参入し繁殖牛が増加。全国各地から隠岐の元気な子牛を求めて買い手が集まり、町内全体で年間350頭前後の子牛を出荷している。5、6年前からは遠く茨城県などからも市場に訪れる企業があり、高値で取引。若い就農者をはじめ町内を挙げて増頭を図っている。本日も紹介する就農者は町内の畜産業を長きにわたって担うことが期待される30代です。



強健な親牛から生まれる子牛が高い評価を受けている。



田中さんの牛舎と運動場。右が生産拡大を見据え、JAの支援を受け新設された牛舎。



様々な想いを胸に、親子二人三脚で。素敵な田中さん親子。

遺志を受け継ぎ、親子2人3脚で

とても明るく気さくな田中さんと母の美砂子さん。祖父が数頭の繁殖牛を飼育しており、他界した兄と繁殖農家として経営を拡大することが夢でした。その遺志を引き継ぎ、田中さんと母の2人で繁殖牛を徐々に増やしています。現在は32頭の繁殖牛がおり、子牛を年に20頭余り出荷しています。

お産の立会いは夜中にも

何回かお産を経験した牛でもお産には細心の注意が必要です。お産専用の牛舎にはカメラを取り付け、逆子になっていないか、大きくなりすぎて難産にならないかなど入念に牛の状態をチェック。夜中だろうが早朝だろうが牛舎に駆け付けてお産に立会い、授乳がうまくいったのを確認してからようやく牛舎を離れます。人と一緒に親の乳を飲ませると免疫力が強くなるので牛の性格を見極めながらたくさん乳を飲ませるよう心掛けています。また牧草を育てていますが、雨に当てずに全量収穫しなければならぬほか、昨年は天気の関係で2番草が取れず、止むを得ず牧草を購入。頭数も増えたことにより、餌のコストも増加し、冬場の粗飼料不足をどう解消するのが現在の課題となっています。



お二人の愛情とたゆまぬ努力が元気な子牛を育てているのだと確信しました。

小さくても足腰の強い元気な牛。ありがとうの気持ちまで

放牧で育つ強健な親牛から生まれる子牛は、風邪や下痢などの病気に強く、将来的に肉用牛として立派に育つと評判の隠岐の子牛。母の美砂子さんは牛を出荷する時にお神酒をかけて「ありがとう」の感謝の気持ちを忘れません。修司さんは感謝の気持ちとともに、兄と夢を描いた法人化を見据え50〜60頭を飼育する計画を進めています。

レンズを向けると寄ってきてくれる、元気で人懐っこい母牛たちも、とても印象的でした。



脈々と受け継がれる畜産への想いと、隠岐の畜産の未来を感じることができる取材となりました。



「牛突き」との二頭流

以前は建設会社に勤務していたという野津さん。公共事業の削減で仕事が減少していくのを目の当たりに。何かしなければと思い、長らく伝統文化の「隠岐牛突き」に携わっていたことから、8年前から繁殖牛を飼育。現在は地元の観光協会スタッフとして闘牛を飼育し、月に10番程度の牛突きの取り組みをするかたわら、放牧と牛舎を利用して子牛を生産しています。



優しさ溢れるお人柄に、「二頭流」の先にある成功が見えた気がしました。

365日の飼育に課題

一人で繁殖牛9頭を飼育している野津さん。冬場以外は種付けされ受胎確認ができた繁殖牛を公共牧野に放ち、生産された子牛や授乳中の親牛等は牛舎で飼育。子牛は半年から8カ月位になったら年3回ある家畜市場に出荷しています。

繁殖牛

一口メモ

隠岐地域で最重要品目である和牛の出荷。島前・島後の4町村で盛んに生産を進めており、隠岐の島町は出荷額で知夫村を抜き、西ノ島町に次いで2番目の出荷額まで拡大している。各4町村で開いている家畜市場には茨城県から長野県、福岡県等から企業数十社・個人など全国各地から子牛を買いに訪れ、活況している。放牧を取り入れ、生まれた子牛は飼料を食べさせてから授乳するなど、腹づくりを徹底。1頭当たりは決して大きいほうではないが、牛の将来性を見込んで、キ口単価に換算すると高価格で取引されている。



手探りながら、様々なことを前向きに考え、繁殖に携わる姿が真っ直ぐで、とても素敵でした。

毎日、繁殖牛や子牛への餌やりのほか、体調に変化が無いかなど、元気な子牛を生産・飼育するため、365日牛舎を離れることができません。離島ゆえに、研修などで出張する際には宿泊する必要も。止むを得ず留守にしなければならぬ時は知人に管理を頼んだりしますが、気兼ねなく出かけることができるよう、ヘルパー制度などがある。

れば、と関係機関に要望しています。今後は現在の9頭から15頭まで増やしていく計画で、牛舎をJAの農業振興支援事業など受けて新たに1棟を建設。約800年前、後鳥羽上皇をお慰めするために始まったとされる「隠岐牛突き」の継承を続けながら元気な子牛を生産しています。広兼部長によると、冬場の粗飼料不足や自給飼料の確保のため、休耕田など活用し稲発酵粗飼料(WCS)用の稲を町内で約40haほど栽培。そのうちの半分はJAで刈り取り、支援を続けています。また担い手確保のため、就農しやすい環境作りにも着手。今後はヘルパー制度などの仕組みづくりなど前向きに検討しているところだ。こうした環境整備と新規就



JAの支援を受けて新設された牛舎。飼育環境を考え、様々な工夫が施されていました。

農者の確保の両輪を回し、隠岐の畜産振興につなげていきたいと熱くお話をいただきました。

雲南地区本部 青空市ぶなの里



産直へようこそ!!

可成り産直が盛んな地域の特産品「JALまね 島根県内の産直店舗を」紹介します。



飯南町を走る国道54号線沿いの「道の駅頓原」に隣接する「青空市ぶなの里」。その歴史は、地元農家の女性グループが中心となってテナントで農産物の販売を開始したことに始まり、今年の3月には開設25周年を迎えた。

店内にはとれたての農産物などが並び、取材で訪れた日も地元の生産者さんが朝収穫したばかりの肉厚な原木シイタケを並べていた。生産者と直接会話して、おすすめのお味方を教えてもらえるのも産直の魅力だ。

同直売所には出荷会員の顔写真が並べられているが、出荷会員数は増加している。本田啓子店長は話す。ぶなの里の戸田雅之会長が、周辺の生産者やイーターの新規就農者へ声を掛け出荷を促したことで、以前は70人程度だった会員も今では102人が登録するまでになった。その結

ぶなの里といえば野菜苗！5月は軒先にも苗が並び(写真は昨年)



店内には出荷会員の皆さんの顔写真がズラリ

果ぶなの里は、一般的には出荷量が減少しがちになる冬場をはじめ、1年を通して新鮮な農産物が安定して売り場に並び直売所となった。「今でも定期的新しい写真を追加するんですよ」と本田店長は笑う。

おなじみの苗物が売り場に並び、標高が高く昼夜の寒暖差が激しい当地で育つ野菜苗は、丈夫で多収量だと評判だ。苗物は同産直で一番の売り上げを誇り、松江や出雲などはもちろん広島からも多くの人が上質の苗を求めて訪れる。

そのほかには、地元で採れた食材で作られる豆腐、漬物、味噌、お餅などここでしか買えない逸品もたくさん。手作りの手芸品コーナーも充実していて、「ここのお店は楽しいね」と来店者に好評だ。また季節ごとに、山菜の天ぷらやぜんざいなどを販売するイベントも開催される。

頓原といえば漬物と味噌。手芸品も一点ものが並び。



「目指すのは顔が見える直売所！」と話す本田店長



所在地：島根県飯石郡飯南町花栗48 道の駅とんぼら隣
 営業時間：5～10月 8:00～17:30
 11～12月 8:00～17:00
 1～2月 9:00～16:00
 3～4月 8:00～17:00
 定休日：年末年始
 TEL：0854-72-1530



JA 自己改革 実践中

JAグループ島根

JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介



JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

山下勇人さんは3年前に大阪市から安来市に1ターンし、平成30年9月に安来市の特産であるイチゴの栽培を開始しました。現在、経営面積は7アールで、土耕栽培により「紅ほっぺ」を生産しています。

パイプハウスや高設ベンチなどの施設は、国・県の補助事業とJAしまね農業振興支援事業、やすぎ地区本部が整備した新規就農者育成支援リースハウスを活用しています。

今シーズンが初めての出荷ですが、「生産量、質ともに上々」と順調な出足に笑顔がこぼれます。

山下さんは、「JAに支援してもらい、初期投資が軽減できてたいへん助かっています。今後、計画的に経営面積を拡大し、安来市の特産品であるイチゴ生産の担い手としてがんばっていこうと思います」と話してくださいました。

安来市 山下 勇人さん



JA YOUTH

一所懸命 青年連盟



ボン菓子体験を行う児童、盟友

JAしまね石見銀山青年連盟

JAしまね石見銀山青年連盟は、大田市管内の青年農業者等35名で構成されています。

農業を守り発展させる活動として、毎年11月に開催されるJAふれあい祭でのボン菓子加工・販売は好評で、市内の保育園でのボン菓子加工実演も行っています。その他、食農教育活動として、JA女性部と連携した食農料理体験事業「家族と一緒におおだ産 にとって！つくって！たべよう！」も平成28年より、継続実施しています。

また、農業を次世代へ引き継ぐべく、島根県農林大学校の学生との交流も昨年度より実施しており、大田市への就農の相談や農青連への加入を促進していく活動も行いました。

今後もポリシーブックを活用し、青年連盟の活動をさらにPRして盟友を拡大していきます。

※ポリシーブックとはJA青年組織の活動指針でもあり、政策提言集でもある、青年組織の活動の核となるものです。



石見銀山青年連盟のFacebookも是非ご覧下さい！



雲南

春休みにみんなで料理 災害時に役立つ調理法学ぶ

ＪＡしまね雲南女性部大東支部のメンバーが組織する「うしお料理クラブ」は4月2日、雲南市大東町の海潮交流センターで、地元の児童を対象とした春休みクッキングを開催し約30人が参加しました。

メニューは家の光協会が発行している「家の光」に掲載された料理の他に、耐熱包装食袋を使ったカレーやピラフ、プリンなどを作りました。耐熱包装食袋を使った調理法は、袋の中で味付けできたり、1つの鍋で複数回調理できたりするため水が貴重となる災害時にも役立ちます。

同クラブの富山邑子代表は「子ども達が防災への意識を高めるきっかけになればうれしい」と狙いを話し、参加した児童は「袋で料理できるなんてびっくりした。プリンが好きだから家でも作ってみたい」と笑顔で話した。



クラブのスタッフから指導を受けながらプリンを作る児童

隠岐

芝桜が満開

隠岐の島町飯田地区において、地域住民のボランティア活動により定植された芝桜が4月中旬には満開となり見頃となった。（活動詳細はしまねびより10月号のトピックスにて紹介）今では、地域の方の目を楽しませているだけでなく、他の地域からも花を見に来る人も多い。地域活動に参加した1人は、「苦勞して作業したことが実を結び、鮮やかなピンク色の花に彩られた群生を見てやって良かったと思う。地域の方々と酒を酌み交わしながら花見をすることが楽しみ」と語った。

この活動支援として、ＪＡしまねの地域貢献・地域活性化支援事業を利用し助成をさせて頂いていますが、引き続き地域貢献のため、地域の活動を応援していきたい。



くにびき

八束学園でマグカップ寄贈 ～学園生活の思い出に～

八束支店運営委員会（池田至郎委員長）は3月20日、松江市八束町の市立義務教育学校八束学園を訪れ、6年生42名に「オリジナルマグカップ」を寄贈しました。

同委員会は、地域貢献の一環として2013年度から、同学園の6年生を対象にオリジナルマグカップの製作と寄贈を行っています。

この日寄贈したマグカップは、2月27日に児童自身が描いた絵や持ち寄ったシールなどを貼っていき、焼付けを完了させたもの。

当日は、同委員会の事務局長を務める池田久夫支店長が「マグカップをいつまでも大事に使ってください。これからも一緒によりよい地域をつくっていきましょう」と挨拶。その後、先生が個性溢れるマグカップを児童一人ひとりに手渡しました。

早速、箱からマグカップを取り出した児童たちは、出来栄に笑顔を見せながら「思い出がひとつ増えてよかった」「優しく丁寧に教えていただいたおかげで、上手にできた」と話しました。



やすぎ

家の光介護予防講座スタート！

やすぎ地区本部は赤江支店で4月12日、2019年度家の光介護予防講座を開催しました。同講座はＪＡ島根厚生連の職員による健康体操教室や雑誌『家の光』を活用した講座を毎月1回開催しており、昨年度から引き続き参加される方に加え、今回新たに参加される方も含め計34名の応募がありました。

第1回目となる今回は24名が参加し、まずは自分の身体について数値で知ってもらうため、身長体重や骨密度、歩くスピードなどを測定しました。また講義では、それぞれの数値の説明や「立つ」「歩く」といった移動機能が低下した状態のロコモティブシンドロームについてなど、運動することの大切さを学びました。最後に椅子に座りながらできるエクササイズを行い、参加者は「皆さんと一緒に運動するのは楽しいです」と話されました。



斐川

チューリップ20万本 咲き誇る！

4月13日、14日の両日、出雲市斐川町今在家で「花のまち出雲」を象徴するチューリップ祭りが開かれました。今年は60アールの圃場に20種類のチューリップ約20万本が咲き誇り、満開の見頃を迎えたチューリップを目当てに、町内外から訪れた多くの家族でにぎわいました。来場者は「毎年楽しみにしている。色とりどりのチューリップを見ることが春を感じられる」と話し、会場では生産者や地元有志による焼きそばやフランクフルトの販売、斐川地区本部も地元産青ネギをふんだんに使った「ねぎ焼き」のPRを行いました。満開のチューリップは4月中旬まで楽しむことができ、会場の目印として恒例のこいのぼりと、道路に面して置かれるチューリッププランターが来場者を出迎えます。



満開のチューリップ畑

石見銀山

J A 女性部が清掃活動

J A しまね石見銀山女性部（長久支部・久利支部・大田支部）が、4月2日に大田市長久町の地区本部周辺の美化活動を行い、12人が参加しました。

この活動は、J A しまねの3地区本部（出雲地区本部、斐川地区本部、石見銀山地区本部）の女性部が、それぞれの地域で実施し、今年で4回目です。

当日は早朝の8時より部員が集まり、大田市に流れる三瓶川周辺のゴミ拾いを行い、山崎辰次地区本部長も参加しました。

森脇岸江女性部長は開始の挨拶で「地域がきれいになるようしっかりゴミを拾おう」と話しました。

また、久手支部、富山支部、川合支部も日にちは違うもののそれぞれそれぞれの地域で美化活動を行いました。



ゴミ拾いをする女性部員

隠岐
どうぜん

野だいこん祭りで ニコニコおむすび大作戦！

4月20日、好天に恵まれた土曜日に、知夫村の玄関港・隠岐汽船フェリーターミナル駐車場周辺を会場に、「第28回野だいこん祭り」が盛大に開催されました。“野だいこん”とは、公共放牧地となっている赤ハゲ山の山頂一帯で薄紫色に咲き誇る“ハマダイコン”のことで、知夫の春を告げる祭り・島開きとして村民に定着したものです。

当地区本部は祭りには欠かせない出店コーナーの一角として参加し、定番である「しまね和牛」の販売と「みんなでやろう！ニコニコおむすび大作戦」と銘打った、海士町産の米と知夫村の食材をワンポイントしたおむすびを、参加者自身が握る企画を提供しました。

おむすびの具材は一般的な梅干や鮭等に加え、知夫村の山海漬や冬の代表的な海藻である神葉（ホンダワラ）の佃煮等、伝統的な食材も取り揃え、子供から年配者の方々が「大きいのがいい」「塩が効いたのがいい」などと楽しそうに具材を選び、各自2個ずつ握って食べました。途切れることがないくらい沢山の方の参加を頂き、有意義な春祭りとなりました。



出雲

恒例のラピタビアガーデン 今年もオープン

出雲地区本部は4月12日、恒例の「ラピタビアガーデン」をラピタ本店屋上で開始しました。小さなお子様からご年配の方まで幅広く楽しんでいただける交流の場として毎年開催しています。

初日は会社帰りの方を中心に約210人が来場。オープニングセレモニーでは、J A しまね出雲女性部東部地区「だんごの会」のスコップ三味線や地元バンド「ジージーズ」の演奏、津軽三味線などが会場を盛り上げました。

ビアガーデンは、9月末まで毎日午後5時半から9時まで営業します。今年は5月末まで土・日・祝日を除き、300円プラスで焼肉食べ放題も企画しました。700席（雨天時は300席）を設け、バイキング方式で飲み放題、食べ放題となっています。季節に合わせた料理や楽しんでいただける企画、お得な企画を多数用意し、皆様のご来場を心よりお待ちしております。



ご予約・お問い合わせは生活部ブライダル課

TEL0853-21-6063まで。

（お問い合わせ時間／9：30～20：00）

西いわみ

J Aしまね西いわみ女性部鎌手支部 総会開催そば打ちも体験

J Aしまね西いわみ女性部鎌手支部（支部長両見宣子）は4月8日、益田市西平原町の鎌手地区振興センターで平成30年度の通常総会を開きました。

平成30年度活動では「ほめられ酢」を使った料理教室や福祉施設へのおやつサービス提供の実施等を報告、平成31年度は「農の生け花」の展示など積極的な活動をしていく事を確認しました。

そば打ち講習では、講師に招いた地元在住の農業細川恒之氏から手打ちそばの作り方を教わりました。

生地のこね方や伸ばし方、力加減などを指導してもらい、打ちたてのそばを昼食として全員でいただきました。



島根
おおち

J Aしまね島根おおち青年連盟 組織活性化および『地上』編集研究会

J Aしまね島根おおち青年連盟は、青年組織の活性化、組織基盤の強化を図る「学習強化運動」をすすめるためのモデル組織に選定されたことを受け、盟友同士の結束を深めるため月刊誌『地上』を使った、組織活性化および『地上』編集研究会を開催しました。

研究会では事前に行っていた、農業、青年連盟活動、地域活性化等についてのアンケート結果が報告されたほか、家の光協会から全国の青年組織活動の事例紹介や『地上』の編集方針、編集企画についての説明がありました。その後、7、8名の班をつくり、今回の研究会のメインであるグループワークを行いました。テーマを「青年連盟活動を継続し発展させていくためには」と設定し、盟友同士が意見交換を行い、テーマを全体的に考え議論を進める班、現在行っている「愛菜カレーの日」の活動を切り口に議論を展開する班と様々でしたが、それぞれに盛り上がりを見せました。

島根おおち青年連盟では、今後も盟友同士の意見交換を行う場を設け、結束を深めるとともに組織の活性化を図っていきたく考えています。



本店

J Aしまね入組式 新たな力に期待

4月1日に松江市の島根J Aビルで入組式を行い、今年度は49人の職員を新たに迎えることができました。

入組式では新入職員を代表して、雲南地区本部の石原宏樹職員が「J Aしまねの職員という誇りをもち、信頼してもらえるよう力を出していきます」と決意表明しました。

同日より新入職員向け研修「J A島根ユースカレッジ新入職員課程」もスタートし、J A職員をはじめとしたJ Aグループ島根の新入職員合わせて62人が、約1年かけてJ Aの基礎知識や社会人としての心構え、J A職員として必要な基本的知識や実務を習得します。

竹下正幸組合長は「この研修会で仲間をつくり、社会人・J A職員として基礎を学び、共に頑張っていく気持ちで突き進んでほしい」と激励しました。

J Aしまねの新米職員にむけて、皆様のご指導とご支援をよろしくお願いたします。

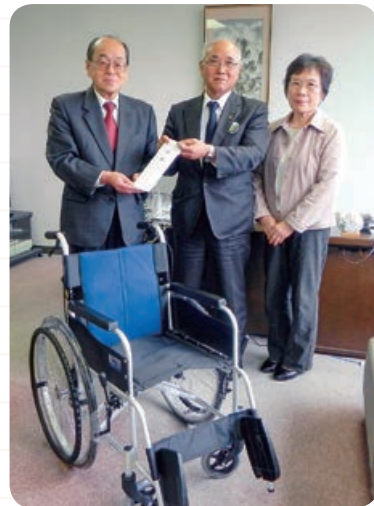


新入職員代表で決意表明をする石原宏樹さん

いわみ
中央

プルタブ回収運動で車いす贈呈 ～小さな積み重ねが地域貢献に～

いわみ中央地区本部（井上宗治地区本部長）とJ Aしまねいわみ中央女性部（徳田マスエ部長）は4月上旬、自走式車いす1台を浜田市社会福祉協議会（大谷克雄会長）に贈呈しました。同事務所を訪問し地区内の介護支援活動に役立てて欲しいと贈ったものです。これは、いわみ中央地区本部と女性部が平成24年度より管内組合員・女性部員にそれぞれ呼びかけているエコ運動の一環で、地区本部管内の各支店・事業所でのプルタブ回収と女性部統一運動の成果として行っています。井上宗治本部長は「捨ててしまえばただのゴミだが集めれば有効な資源として車いすに変え贈ることが出来る。今後もこのような活動を続けて行きたい」と話しました。受取った大谷克雄会長からは「一昨年も贈呈いただき介護支援活動に活用させていただいております。有難うございます」とお礼の言葉をいただきました。



タテのカギ

- ①人に相談すると解消することも
- ④障子やふすまをはめます
- ⑦ガロのヒット曲『——街の喫茶店』
- ⑨改札やホームがあります
- ⑩漢字では「茱萸」や「胡頹子」と書きます。サクランボに似た実がなります
- ⑪舞台の上で演じられるもの
- ⑬子守熊ともいわれるオーストラリアの動物
- ⑮太陽の光がよく当たる場所
- ⑯——遣い ——□ ——足
- ⑰夏至は一年で最も——が短い日
- ⑱日本三景の中で一番北にあるのは
- ⑲平熱よりも少し高め
- ⑲人家の軒先に巣を作ることもあります

ヨコのカギ

- ①雨の多い時期に活躍する履き物
- ②ネギやごま、七味唐辛子など
- ③ショッピングモールにはたくさん並んでいます
- ⑤新進——の芸術家
- ⑥吸ったり吐いたりします
- ⑧融通が利かない人
- ⑫父の日に、黄色い——の花を贈る習慣もあります
- ⑬物を非常に細かく砕いた状態
- ⑭未熟なうちに収穫した大豆
- ⑮ランチの後にうとうと
- ⑯歯磨きをして予防します
- ⑰もしものときのために準備しておく物。スペアともいいます
- ⑲トイレットペーパーの芯やちくわのような形のこと

二重マスの文字を A～E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	7	10			17	20
2				15		
3			13			
	8	11			18	
4		12			19	21
5	9			16		
6			14			

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

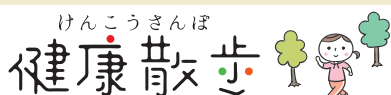
応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒696-0222 島根県邑南町下田所277
JAしまね 島根おおち地区本部 組合員課 「クイズ」係
2019年6月5日（水）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆ 「シヤクナゲ」

ア	ヤ	メ	ホ	コ	リ
マ	ナ	イ	タ	サ	ヤ
キ	ギ	イ	チ	ジ	ク
ヒ	ア	シ	カ	ゴ	
ナ	イ	シ	ヨ	ユ	
ゲ	タ	ク	ロ	ウ	ト
シ	チ	ミ	カ	ゲ	キ

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはありません。



森林浴に出かけましょう!!

JA島根厚生連

風薫る爽やかな5月。新年度を迎え1ヶ月が過ぎ、少々お疲れが出ていませんか？身も心も…。

今回は、その疲れを癒す1つの方法として森林浴に目を向けてみました。

日本は国土の7割程度は森林が占めていて、世界でも有数の森林国です。ここ山陰でも数多くの自然に囲まれており、森林セラピーとして推奨されている地域がたくさんあります。1982年に『森林浴』という言葉として提唱されました。その22年後の2004年には、科学的（医学的）効果が解明された森林浴を『森林セラピー』という言葉で提唱されるようになったということです。

広く一般的に知られている森林浴ですが、あらためて森林浴とは、「森林を散策して樹木の香気を浴び安らぎや爽快感を得る。また、樹木に接し精神的な癒しを求める行為」とあります。なんだかこう読んでみると、堅苦しくて、億劫になってしまいますね？とりあえず、キラキラと輝き、目にまぶしい木々の緑の中に出かけてみましょう。

緑の中に入ると誰でも大きく深呼吸をしてしまいます。条件反射のように大きく山の精気を吸い込む、吸い込みたくなることがまさに森林浴とその効果です。緊張感や疲労感が緩和され穏やかな気持ちになり、血圧や脈拍数が低下するなど、心理的にも身体的にもリラックスした状態になることも確認されています。さらに、2日間の森林浴では、がん細胞を攻撃するナチュラルキラー細胞（NK細胞）が活性化し、抗がん作用効果もあるといわれています。

木の芽どきの体調を崩しやすいこの時期に、新緑の美しい自然の中に身を投げ、思いっきり木々の恵みを吸い込んで、身も心もリフレッシュしましょう！そして、また明日から元気にスタートしましょう。



JAの生命総合共済



各支店渉外担当紹介

江津市桜江町

桜江支店



植田 尚子



長谷川 翔

川本町

川本支店



森岡 友昭



片岡 明德

美郷町



道畑 繁樹



河野 豊秋

邑智支店

7
邑南町

石見支店



沖 真由美



矢川 恵大



松本 裕太



吉本 茉由

羽須美支店



野田 海記



山根 明子



日高 憲太



森岡 悠也

瑞穂支店



三上 栄司

組合員・利用者みなさまに
安心・信頼される
渉外活動を行います。
お気軽にお声かけください。



島根おおち女性部総会



島根おおち女性部通常総会が、4月5日に桜江総合

4月
5

センターにて開催されました。30年度の事業報告・収支決算報告、31年度の事業計画・収支予算等が審議され承認されました。また、今年度は役員改選となり、瑞穂支部、羽須美支部、桜江支部では新たな部長が就任されました。議事の前後には、30年度のケイトウ栽培における出荷数量や秀し率での、優良支部・優良生産者として2支部、3名の表彰が行われ、今後の栽培拡大への励みとなりました。

議事終了後には研修を行い、第61回全国家の光大会における優績者体験発表をDVDにて視聴しました。インパクトのある発表内容に会場からは笑い声や、共感の声が上がっていました。また、3月に出雲市ラピタで開催されたJA健康フォーラムにおいて、桜江支部長の田野美恵子さんが「笑顔で検診」と題し発表された、検診と啓発が一体となった健康管理活動「まめたす活動」の桜江支部での取り組み内容を総会の中で発表されました。発表の後には、JA島根厚生連より今年度より新たに始まる農業者・女性部検診について説明があり、検診を受けることの大切さを改めて考えることができました。

島根おおち女性部では、31年度も『食』と『農』を基軸とした、地域に見える活動を展開していきます。

花き部会しきの会総会



平成30年度花き部会しきの会の定期総会が、4月12日に川本町の悠邑

4月
12

ふるさと会館にて開催されました。30年度の事業報告・収支決算報告と31年度の事業計画・収支予算が審議され承認されました。

総会終了後には、市場担当者、種苗メーカーを迎えて市場の状況報告等の意見交換会が行われました。

花き部会しきの会では、研修や市場視察、花きの消費拡大への取り組みを通じ、環境と生産者・消費者に配慮した農業生産活動や花育活動を行うとともに、新たな花き生産者や担い手の確保と新たな生産品目への取り組みを行っていきます。



総合ポイントカード「おさいふカード」

交換商品カタログ

おさいふカードの商品交換カタログが2019春夏号になりました。

2019 春夏号



カタログは、各支店、事業所に置いてございます。ご希望の場合は、各支店窓口にてお気軽にお声掛けください。

■ポイントカード全般のお問い合わせ

0120-031-207

新たな健診が
始まります！

農業者・女性部健診のご案内

JAグループ島根では農業者・女性部の皆さまが健康で農業生産や女性部活動に携われるよう健康管理のお手伝いをします。

開催日・開催場所

令和2年2月28日(金)

開始場所：矢上交流センター（邑南町矢上）

内容充実の27項目の
検査内容をご用意しています。

《検査項目について》

検査項目	検査内容
胸部CT検査	マルチスライスCT検査 ※40歳以上に実施
筋肉量測定	筋肉量の測定
循環器検査	血圧測定、心電図検査
眼科検査	眼底検査
血液検査	生化学 AST、ALT、γ-GT、クレアチニン、 e-GFR、尿酸、中性脂肪、HDL-C、 LDL-C、HbA1c、血糖
	一般 赤血球、色素、ヘマトクリット
	免疫 TSH（甲状腺）、ペプシノゲン（胃 の健康度チェック） PSA（前立腺：男性のみ）
骨粗しょう症検査	骨密度測定
尿検査	蛋白、糖
身体測定	身長、体重、腹囲、BMIの測定
問診	現病歴、既往歴、服薬状況、生活 習慣等の聞き取り
内科診察	医師による診察

《おすすめポイント》

1. 充実した健診内容

JAグループ島根オリジナル検査をセットしています。
「胸部CT健診」がセットになった健診は他にはありません！

2. 安価な料金設定

基本料金 23,170円 のところ、JAグループの助成により**7,000円（39歳以下の方は6,000円）**で受診できます。



※厚生連が実施する「胸部CT健診」は、通常単体で受診すると5,000円かかりますが、今回の健診では、「胸部CT健診」のほか「骨粗しょう症健診」などの有用な検査 27項目がセットで7,000円としています。

3. ご近所で受診できます

JA施設等の身近な場所で受診できます。



4. おさいふカードにポイントが貯まります

健診当日に「おさいふカード」をお持ちいただくと**70ポイント**が付与されます。

JAしまね 島根おおち地区本部

JA島根厚生連

支店
だより

川本支店

新体制となりました！

皆様のご来店を笑顔でお待ちしています



支店からのお知らせです

令和元年！初めての開催です！！

春の JA年金相談会

日時：令和元年 **5月24日(金)**

午後3：00～午後7：00

場所：川本支店

お問い合わせは、
JAしまね川本支店【72-0556】までお願いします。

支店
だより

石見支店

3月1日付けの人事異動により着任しました。どうか宜しくお願い致します。



支店長 森田 武吉



課長 日高 孝嗣



所長 福屋俊太郎



所長 日高一博

皆様のご来店、ご利用をお待ちしております。お気軽にお声掛けください。



水稲の栽培管理について

～ 田植え後から6月下旬までの管理 ～

●田植え後の水管理

田植え後は、保温のため3～4日間は水深3～5cmを保ち、活着後は分けつを進めるため2cm程度の浅水管理を行いましょう。(風の強い日も深水で管理してください)

●6月上旬頃から間断灌水を！

気温・水温が上昇してくると水田の有機物の分解が進みガスが発生しやすくなります。間断灌水を実施してガス抜きを行いましょう。

●中干しを確実にいき、無効分けつの防止と根張りの良い稲体づくりを！

有効莖数(葉が三枚以上の莖)が16～18本まで分けつが進むと中干しの時期となります。通常7～10日間を目安としますが、生育状況や天候・土壌条件によって期間を調整しましょう。5月中旬以降に田植えを行った場合は、中干し時期が梅雨の最中となるため、中干しを長めに行いしっかりと根を張らせましょう。水の循環を良くする為、この時期に作溝を作りましょう！

※近年問題となっている「乳白粒」予防のため、間断灌水・中干しをしっかりと行い、稲刈りの10日前頃まで水を当てることの出来る固く締まった水田に仕上げましょう！

除草剤(中・後期)

除草剤名	使用時期	使用量(10a)	使い方・注意事項
テッケン 1キロ粒剤	田植え後15日～ノビエ4葉期 但し収穫60日前まで	1kg	葉齢の進んだ雑草にも効果が高い。クログワイは草丈20cmまで、オモダカは草丈30cmまで。
ハイカット 1キロ粒剤	田植え後15日～ノビエ3.5葉期 但し収穫60日前まで	1kg	クログワイ・オモダカに効果が高い。クログワイは30cmまで、オモダカは矢尻葉3葉期までに散布。
レプラス 1キロ粒剤	田植え後14日～ノビエ4葉期 但し収穫60日前まで	1kg	ホタルイ・クログワイ・ノビエ・オモダカに強い成分を混合し殺草力を高めた新規中後期除草剤
クリンチャー 1キロ粒剤	田植え後7日～ノビエ4葉期 但し収穫30日前まで	1kg	ヒエ専用剤 水の出入りを止めて湛水状態で散布。
モゲトン粒剤	ウキクサ類・藻類の発生始～発生盛期 但し収穫45日前まで	2～3kg	藻類・表層剥離に効果がある。
バサグラン粒剤・液剤	田植え後15～50日 但し収穫60日前まで(液剤は収穫50日前)	3～4kg 500～700ml 水70～100ℓ	落水状態 (足跡に水が残っている程度)で散布。イネ科雑草を除く多様な多年生雑草に効果がある。
クリンチャーバスME液剤	田植え後15～ノビエ5葉期 但し収穫50日前まで	1000ml 水70～100ℓ	落水状態 (足跡に水が残っている程度)で散布。ノビエ・広葉雑草に効果あり。

いもち病の予防(6月中旬頃)

いもち病は、気温25～28℃で降雨が連続すると発生しやすくなります。いもち病の予防剤入りの箱処理剤を使用していない場合は、6月中旬から7月上旬頃に特に注意していただき、「コラトップ粒剤」等の予防剤を散布してください。

※JA育苗センターの主食用苗については、いもち病の予防剤入りの箱剤を使用しております。

田んぼの 雑草図鑑



ホタルイ



ホタルイ(3葉期)

【注意!】
ホタルイは草丈3cm程度の3葉期までに除草剤を散布しないと取りこぼしが多くなります。



オモダカ



クログワイ

例年 5月中旬から6月下旬に 問題になる病害虫です 予防を徹底しましょう!!

白ねぎ

※べと病の発生前に予防剤「レーバスフロアブル」を使用。

予防の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	使用時期
5月中旬～6月下旬	べと病	レーバスフロアブル	2000倍	収穫7日前まで
発生後	べと病	プロポーズ顆粒水溶剤	1000倍	収穫14日前まで
		アミスター20フロアブル	2000倍	収穫3日前まで

注意：薬害の恐れあるため、アミスター20フロアブルには展着剤を使用しない。

※べと病発生後は、「プロポーズ顆粒水溶剤+展着剤」(治療剤) 散布と、1週間後に「アミスター20フロアブル」(治療剤) の2度の散布が必要です。



白ねぎ
べと病発生状況
1回の防除では
止まらない!

6月に入るとハモグリバエ被害(右上端画像)があります。6月上旬に「ダントツ粒剤」を3～6kg/10a株元散布して対応してください。ハモグリバエの被害が拡大すると生育がかなり遅れるので注意してください。

きゅうり

予防の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率量	使用時期
5月下旬	ウリハムシ・アブラムシ	マラソン乳剤	2000倍	収穫前日まで
	べと病・うどんこ病	ダコニール1000	1000倍	収穫前日まで
6月中旬	アブラムシ	アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで
	べと病・うどんこ病 斑点細菌病	カスミンボルドー	1000倍	収穫前日まで



きゅうり
べと病・うどんこ病

きぬさや・スナップ
ナモグリバエ・うどんこ病

えんどう (きぬさや・スナップ)

予防の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	使用時期
5月中下旬	ハモグリバエ	アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで
	うどんこ病	トリフミン水和剤	3000～5000倍	収穫前日まで



ケイトウ定植までの管理について

○3～5本発芽したものは2本にする（はさみで切る）

→軒下育苗：苗が間伸びしやすいためトレーの位置をたまに、回転させる。

⇒太陽の光がまんべんなく当たるように

→トンネル育苗

○5cm程度、苗箱を浮かすこと。高すぎるとトンネル上部に溜まった熱で苗が焼けます。

○朝ビニールを取ることをお忘れなく。

○雨の時はビニールのすそほどは開ける。

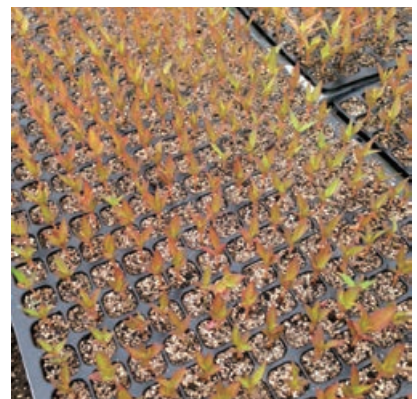
○本葉3～4枚になれば夜間もビニールは雨よけだけにし、露地の環境に慣らす。

→ハウス育苗：朝サイドビニールを開けることをお忘れなく。高温注意！

※本葉2枚時と3枚時の2回、液肥（トミー液肥500倍液【1ℓの水の液肥2cc】）ジョーロでかん水がわりに！

【定植適期の苗の状態（大きさ）色はちょっと薄いけど（上写真）定植すると緑色に回復します】

【（下写真）のように葉が赤くなるまでに定植する】



和牛情報

平成31年4月子牛市場成績表



中央“上昇”

本県4月の子牛市場は中央で開設し、247頭の上場があり、平均価格は、雌746,247円（前回は20千円高）、去勢841,349円（前回は25千円高）、平均803,616円（前回は27千円高）で“上昇”の相場展開となりました。

中央においては、発育・体積に富むものが多く、極端な発育不良牛もほとんどなく良く揃っていました。また今月の中央市場は、近隣県市場（中国地方）と連続した開催であり、来場者も多く前回市場を上回る展開となりました。

今後も引き続き繁殖農家での飼養頭数の維持・拡大と後継者づくりに地域を挙げて取り組み、購買者が島根県内各子牛市場へ安心して購買に来て頂けるよう上場頭数の確保が必要となります。

県外移出率

雌 69.81% 去勢 47.22% 合計 57.65%

		頭数	最高価格	最低価格	平均価格
中央市場	メス	98	1,063,800	381,240	746,247
	又キ	149	1,010,880	517,320	841,349
	合計	247			803,616
島根おおち	メス	15	889,920	624,240	788,400
	又キ	15	914,760	577,800	803,592
	合計	30			795,996
瑞穂	メス	3	849,960	761,400	805,680
	又キ	4	856,440	577,800	765,990
	合計	7			783,000
羽須美	メス				
	又キ	2	914,760	818,640	866,700
	合計	2			866,700
石見	メス				
	又キ				
	合計	0			
川本	メス	4	889,920	624,240	753,840
	又キ	3	806,760	757,080	775,080
	合計	7			762,943
邑智	メス	8	849,960	746,280	799,200
	又キ	4	895,320	766,800	846,990
	合計	12			815,130
大和	メス				
	又キ				
	合計	0			
桜江	メス				
	又キ	2	774,360	768,960	771,660
	合計	2			771,660



島根おおち女性部羽須美支部は、川角集落で開催された「花桃まつり」でうどんや加工品の販売を行いました。

川角集落では、「天国に一番近い里」をコンセプトに耕作放棄地の棚田を利用し、花桃や菜の花を植えて集落の活性化を目指されており、毎年県内外から多くの人が一面に咲いた花桃を見に訪れています。羽須美支部でも地域と一緒に盛り上げたいという思いから、部員が交代で出店し、地元で採れた野菜や山菜を使用した天ぷらうどんや漬物、ジャム等の販売を行い、訪れた多くの来場者に地元の食材を味わって頂きました。

花桃まつり出店

4月6日 ~ 4月16日

島根おおち地区本部

女性部 が行く



問い合わせ先 ☎83-1802

邑智支部ふれあい研修の実施



女性部邑智支部は、

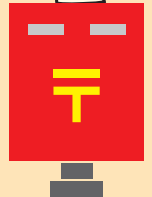
部員同士の

4月10日

親睦を図ることを目的にふれあい研修を開催しました。今回の研修は16名が参加し「いちご狩り」をメインに「きんた農園ベリーネ」、「しまねお魚センター」、「しまね海

洋館 アクアス」へと出かけました。当日朝は雨模様で心配しましたが、農園に着く頃には雨も上がり、はやる気持ちでハウスに向かいました。ハウスには数種のいちごが栽培されており、部員達はもぎたてのいちごを嬉しそうにほおばり「美味しいなあ」などと話し、旬のいちごをお腹一杯楽しめました。お昼ご飯は、お魚センターにて、満腹のおなかを心配しつつも「刺身」、「のどぐろ煮付け」など海の幸を美味しくいただき、食後は鮮魚や干物などの買い物を楽しみました。また「アクアス」では、普段よく見かける鯛や鰯の他、珍しい深海魚、熱帯魚、そしてペンギン、アシカたちが水槽の中をスイスイと泳ぐ姿を熱心に観察し、最後にシロイルカの親子が作り出す大きな「バブルリング」を見て感動の拍手を送っていました。部員たちは「アクアスは、子供が小さい時に来て以来久しぶりで大変楽しかった。」「いちごも甘くて美味しかったし、高級魚も食べたい来て良かった。」と楽しい一日になったようでした。

お便り紹介



今月も皆さんからのおたよりがたくさん届いています。ありがとうございます。その他、JAに対する意見ご要望などもお寄せください。

◇今年もいよいよ水稲の準備が始まりました。雪が少なかったのが原因か山水の量が少なく、我が家では田植になるかと毎日心配です。やっぱり雪の降る時は降ってくれないと。昔の人の言う通りです。瑞穂支店管内 Kさん 70代

●雪が降り過ぎるのは困りますが、春の農作業のためにはある程度の雪が必要なのです。山に水を蓄え、それが少しずつ湧き出して川の流れとなって私たちや動植物のために役立つくれる。自然てやっぱり素晴らしいです！

◇今月号の「島根のいいもの再発見!!」でハマボウフウの記事が載っていました。これっておいしんですよ。何十年も前に江津市の方から頂いて初めて食べておいしかった!! 忘れかけていました。今度どこかで見かけたら買いたいです。

羽須美支店管内 Hさん 60代

●ハマボウフウは海岸の砂地に自生し、5月〜6月に白い花を咲かすとなりました。その頃、海岸を散策するともしかして白い花を発見する事が出来るかも知れませんよ。ちょっと散策してみませんか？

◇シャクナゲきれいですよね。4月の人事異動で顔なじみの人が異動：でも又顔なじみを作ろうと思つてます。花桃まつり来年は行ってみたいです。

邑智支店管内 Tさん 60代

●シャクナゲは美郷町の町花ですね。淡いピンクの花はかわいく美しいです。さて3月、4月は別れと出会いの月ですね。別れは淋しく残された者は心細い気がします。でも「顔なじみを作る」という前向きなお話し、顔なじみが増えると話しの輪も広がりますと毎日楽しくなりますね。

◇私達、大阪から主人の実家に帰って10年になります。野菜の作り方を近所の人に教えてもらって少し作っています。「家庭菜園」を見て勉強になります。昨年は「たまねぎ」が初めて大きく出来てうれしかったです。

川本支店管内 Oさん 70代

●「大きなたまねぎ」の収穫おめでとうございました。Oさんの努力の賜物です。野菜作りは大変ですけど、野菜の成長を見守り、収穫する楽しみがあります。それにいつでも新鮮な安心・安全な野菜を食べれることはうれしいですね。



ねんきんびより

～年金に関するお知らせです!!～

1. 年金額が0.1%アップします

6月の年金振込みから年金額が0.1%アップします。
受給者の方へは『年金額改定通知書』が6月初旬に届きます。

2. 今年度に『年金請求書』が送付される方

- 61歳厚生年金加入の女性（昭和33年度生まれの方）
 - 65歳国民年金加入の男女（昭和29年度生まれの方）
- 誕生日の約3ヶ月前に緑の封筒にて請求書が送付されます。

～今年度も年金相談会開催いたします～ 年金相談会をお勧めしたい方

1. 今年度、年金請求をされる方

請求書が届いた方は、JAにてお手伝いをさせていただきますが、一度年金相談を受けて年金の手続きをされる事をお勧めします。

2. 退職を考えている方

退職後の失業給付金の事・年金の事・また、退職後の健康保険の事など

3. 40年以上お勤めの方

4. 病気などで日常生活が困難な方 など

※上記のほかにも年金に関する疑問・質問にお答えします。

お越しの際は、年金手帳・ねんきん定期便・年金証書・印鑑などご持参ください。

また、当日ご来店できない方は委任状をいただきお調べできますので、各支店にご連絡ください。

お気軽にいつでも
ご相談ください。



年金相談会開催日

瑞穂支店	令和元年10月16日(水) 令和2年 1月26日(日)
羽須美支店	令和元年 7月 3日(水) 令和元年11月 7日(木)
石見支店	令和元年 5月25日(土) 令和元年 8月 7日(水) 令和元年10月19日(土)
川本支店	令和元年 5月24日(金) 令和2年 1月26日(日)
邑智支店	令和元年 7月10日(水) 令和2年 1月25日(土)
大和支店	令和元年 8月22日(木) 令和元年12月 1日(日)
桜江支店	令和元年 5月25日(土) 令和元年 8月25日(日) 令和元年11月24日(日)

年金に関する疑問・質問は
お気軽にご相談ください

JAしまね 島根おおち地区本部 金融課 TEL.83-1803

6月の行事紹介

6月4日(火) **ふれあい農園
いも苗植え交流会**
場所：ふれあい農園(石見)

6月15日(土) **地区本部総代説明会**
PM2:00～ 場所：矢上交流センター

6月19日(水) **ゆとり倶楽部**
講座：草木染め
場所：中野団地センター

6月22日(土) **総合展示会**
場所：いこいの村
6月24日(月)

6月30日(日) **JAしまね通常総代会**
場所：島根県民会館

6月の外勤日

15日(土)・17日(月)・18日(火)

旬の大切なあの人にしまねで育った
ふるさと味覚便
お届けします!!



2019
外勤で配布した注文チラシで
ご注文承ります。

ご注文・
お問い合わせ先

瑞穂事業所	☎ 83-1132
羽須美事業所	☎ 88-0121
石見事業所	☎ 95-1224
川本事業所	☎ 72-0330
邑智事業所	☎ 75-1861
大和事業所	☎ 82-2557
桜江事業所	☎ 92-8025

取れたてが甘くておいしい スイートコーン

あなたもチャレンジ! 家庭菜園

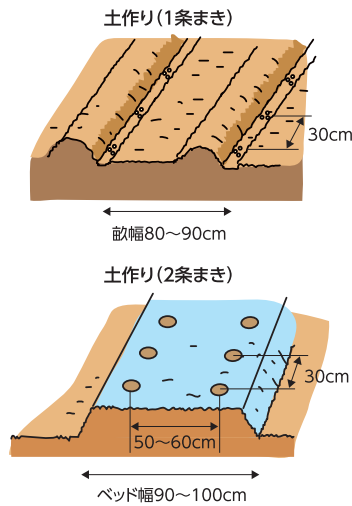
園芸研究家 ● 成松次郎

スイートコーンは温暖で強い日光を好む強健な野菜です。雄花が雌花より先に咲き受粉のタイミングがずれやすいため、集団で育てることが実入りを充実させるポイントです。

【品種】「みわくのコーンゴールドラッシュ」(サカタのタネ)、「おひさまコーン」(タキイ種苗)やバイカラーと呼ばれ黄色と白色が混じっている「ゆめのコーン」(サカタのタネ)などがあります。

【栽培時期】 遅霜の心配のない4月下旬～5月中旬が種まき期で、寒冷地では5月中旬～6月中旬です。

【土作り】 畑1平方m当たり苦土石灰100gをあらかじめ散布しておきます。次に、畝幅80～90cmを取り、深さ20cm程度の溝を切ります。この溝1m当たり化成肥料(N-P-K=10-10-10%)150gと堆肥1kgを施し、土とよく混ぜておきます。2条まきでは、幅90～100cmのベッドを作り、1平方m当たり化成肥料200gと堆肥2kgとを全面に施し、土とよく混ぜておきます。そして、ベッドを平らにならした後、早まきではポリマルチをします(図 土作り)。



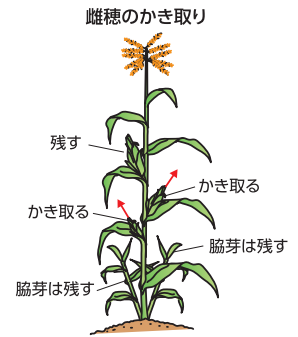
【種まき】 株間30cm程度1カ所3～4粒の点まきします。ハトに食べられないように、寒冷しゃや不織布のべた掛けをしましょう。なお、1～2株の栽培や1列だけでは、花粉が不足しやすいので10株以上、または2列以上の集団で栽培してください。

【管理】 草丈10～15cmで間引く苗を切り取り、1本

立てにします。追肥は草丈50～60cmの頃、畝1m当たり化成肥料50gを列の片側に与え(ベッドでは1平方m当たり100gをベッドの両側)、株元へ土寄せします(図 追肥・土寄せ)。そして、上の雌穂を残し、下に付く穂を全て除き、1本1穂にすれば大きい穂になります。なお、脇芽は特に取り除く必要はありません(図 雌穂のかき取り)。



【病害虫防除】 雄花がつき始めたころにアワノメイガが葉裏に産卵し、大きくなった幼虫は雄穂や雌穂(子実)に食入します。茎や子実に入り込んだ幼虫を防除するのは困難なので、雄穂が伸びだす頃に殺虫剤を散布します。



【収穫】 絹糸が出てから3週間ほどたち、絹糸が褐変して先端の子実が乳白色に着色した頃です。早朝に収穫し、収穫後は急速に甘味が減少するため、早めに冷蔵庫に入れましょう。もちろん、すぐにゆで上げて食べるのが一番です。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

成松次郎 (なりまつじろう)

神奈川県農業技術センター等で野菜の研究と技術指導に従事後、(一社)日本施設園芸協会で施設園芸及び加工・業務用野菜の生産・流通振興に携わる。現在、園芸研究家。

理事会情報 (3月28日開催)

協議事項

- ①平成31年度県域品目販売手数料について
- ②「平成32年度島根県農業政策および予算に関する要望」の進め方について
- ③平成31年度補助事業(国庫及び県単補助事業)の実施について
- ④平成29年産飼料用米の最終精算について
- ⑤平成30年産備蓄米の最終精算について
- ⑥日本銀行歳入復代理店の申請について
- ⑦平成31年度余裕金運用にかかる年次運用方針について
- ⑧平成31年度第1四半期の余裕金運用計画額および運用方針について
- ⑨マネロンおよび反社会的勢力等への対応に関する

規程類の一部改正・設定および特定事業者作成書面(リスク評価書)の改正について

- ⑩一般貸倒引当金の取り扱いについて
- ⑪平成31年度コンプライアンス・プログラムについて
- ⑫平成31年度個人情報保護計画について
- ⑬平成31年度における各種限度額について
- ⑭貸出金遅延損害金の減免について
- ⑮組合と理事との取引(契約)の承認について
- ⑯平成31年度事業収支計画について
- ⑰次期中期経営計画「収支計画」について
- ⑱特別損失(臨時損失)の計上と任意積立金の取り崩しについて
- ⑲「経理規程」の一部改正について
- ⑳「職制規程」の一部改正について

- ㉑平成31年(2019年)9月14日付け為替店舗統廃合の実施について
- ㉒出資口数の減少(減口)の承認について
- ㉓行方不明組合員等の脱退手続きに係る組合員資格の確認について
- ㉔地域・農業活性化積立金を活用したJA共済連助成金制度の平成31年度活用方針について
- ㉕平成31年度JAしまね「日本農業新聞」普及方針について
- ㉖平成31年度JAしまね「家の光三誌」普及方針について
- ㉗雲南地区本部「雲南すずらん福祉センター居宅介護支援事業所」および住宅型有料老人ホームの廃止について
- ㉘職員就業規則等の一部改正について

(紙幅の関係上、報告事項は省略いたします)

元気な島根を 応援します!

2019年度 地域貢献・地域活性化支援事業

JAしまねでは地域における歴史・自然・文化等を活かした「地域力」発揮による「元気な地域づくり」を応援しています。

【対象団体】

① 地域活性化に取り組むグループ・団体表彰

地域住民やJAの組合員が構成員であるグループ・団体・非営利法人（農事組合法人、特定非営利活動法人に限る）で、活動歴が5年以上あること。ただし、次の場合を除く。
①自治会、②過去に当該事業の表彰を受賞または活動費用の支援を受けたグループ・団体・非営利法人。

② 地域活性化活動支援

地域住民やJAの組合員が構成員であるグループ・団体・非営利法人（農事組合法人、特定非営利活動法人に限る）。ただし、次の場合を除く。①自治会、②氏子会、護国会、③過去に当該事業の表彰を受賞または活動費用の支援を受けたグループ・団体・非営利法人。

※なお、表彰や活動支援は、当該事業全体を通して、1団体1支援とします。

【募集期間】2019年5月13日(月)～7月31日(水)

【応募方法】お住まいの地区本部へ応募してください。

事業の詳細は、地区本部の地域貢献活動またはふれあい活動担当部署にお問合わせいただくか、JAしまねのホームページ <http://ja-shimane.jp/> でご確認ください。

【事業内容】

① 地域活性化に取り組むグループ・団体表彰

地域への貢献や活性化に取り組むグループ・団体を表彰します。
(副賞20万円)

② 地域活性化活動支援

地域への貢献や活性化に資する活動を維持・拡大または開始するための資金を支援します。(活動費用(飲食を除く)の2分の1。上限10万円)

支援総額

700万円

JA し ま ね

検索



胸部CT検診を受けてみませんか。

～早期の肺がんを見つけるには胸部CT検診が有効です!～

〈肺がんは部位別がん死亡者数第1位です!〉

	1位	2位	3位	4位	5位
♂男性	肺	胃	大腸	肝臓	膵臓
♀女性	大腸	肺	膵臓	胃	乳房
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓

国立がん研究センター「がん登録・統計2017」

〈肺がんの進行度別5年生存率※〉

(進行度)	早期	→	進行	
ステージ	I	II	III	IV
生存率	81.3%	47.9%	21.7%	4.8%

国立がん研究センター「がん登録・統計2017」

※5年生存率とは…がんと診断されてから、5年経過後に生存している割合

肺がんはがんによる死亡原因の第1位で、死亡者数は年々増加しています。肺がんは小さく転移がない早期の状態で見つければ、手術で完治する可能性が高まります。ただ、早期の段階では自覚症状があまり出ず気づきにくいので、検診で早く見つけることが重要です。胸部CT検診は肺がん発見率が胸部X線検査の約10倍で、早期の段階で見つかる可能性が高い検査です。

早期発見・早期治療のために「胸部CT検診」をお勧めします!

日程等はJA窓口にお問い合わせください。



J A 島根厚生連

全組合員調査のお願い

組合員の皆さまのご意見をお伺いする取り組み

JAは現在、全ての組合員の皆さまを対象とした全組合員調査を実施しています。調査では、現在JAが取り組んでいる自己改革に対する組合員の皆さまの評価をお伺いします。組合員の皆さまからいただいた評価が、今後、政府が行う准組合員のJA事業利用規制のあり方などの検討に向けても重要となります。つきましては、全組合員調査への組合員の皆さまのご協力をお願い申し上げます。



あすっこ入り海鮮塩焼きそば



●材料 (1人分)

中華麺……………	1玉	水……………	50cc
あすっこ……………	1/2束	ガラスープの素……………	小さじ1
シーフードミックス……………	100g	塩……………	小さじ1/4
もやし……………	1/2袋	こしょう……………	少々
		サラダ油……………	適量

●作り方

- ①あすっこの葉は4～5cm、茎は2cmぐらいに切る。
- ②もやしは洗い水気を切る。
- ③中華めんのだしに穴をあけ、電子レンジ(600W)で1分加熱する。
- ④フライパンにサラダ油を熱しシーフードミックス、もやし、あすっこを炒め、中華めん、水、ガラスープの素、塩、こしょうを入れ味をととのえる。



中華めんをあらかじめ電子レンジで温められない場合は水の分量を増やしてください。あっさりさっぱり!でも、あとを引く味「海鮮塩焼きそば」塩焼きそばは、魚介とよく合います。

そらまめサラダ



●材料 (2人分)

そら豆……………	150g	酢……………	大さじ1	
ミニトマト……………	6～8個		塩……………	小さじ1/2
新玉ねぎ……………	1/2個		オリーブ油……………	大さじ3
			黒コショウ……………	少々

●作り方

- ①そら豆はサヤから出して、黒いつめと逆さに包丁を少し入れる。沸騰した湯に塩を入れ2～3分ゆで、ザルに上げ冷やし(水はかけない)皮をむく。
- ②ミニトマトは半分に分ける。新玉ねぎは繊維と直角に薄く切り水に軽くさらしてから水気を絞る。
- ③調味料をボウルに入れ泡立て器で混ぜ乳化させドレッシングを作り、水気を切ったそら豆、ミニトマト、新玉ねぎを入れ混ぜる。



甘くてほくほくしたそら豆をあっさり味のドレッシングで和えています。さわやかな初夏に合う料理です。そら豆は鮮度が命!サヤから出したら味も栄養価も低下するので、サヤから出したらすく調理しましょう。ゆで方は、皮に少し切れ目を入れて塩ゆですると、冷めても皮にしわがよらず、きれいにゆで上がります。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直道 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は隠岐の島町にある玉若酢命神社の「馬入れ神事」です。島後三大祭りの一つ「御霊会風流」のハイライトである馬入れ神事では、8地区から集まった神馬が、鳥居の前から拝殿を目指して狭い参道を一気に駆け上がります。昭和40年5月に県の無形文化財に指定されました。

編集後記

気温も暖かくなり、今年も家庭菜園に何を植えようか悩む季節がやってきました。我が家の定番はミニトマトですが、一口にトマトと言っても様々な品種がありますし、育てたことのない野菜に挑戦したい気持ちも湧いてきます。素敵な出会いを求めて、産直へ出かけます!(和)

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

